



第2回 日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)では、聞こえない学生の支援がどの高等教育機関においても円滑に行われる体制作りを目指し、聴覚障害学生支援のためのノウハウ蓄積と情報発信の基盤作りに取り組んできました。

第2回目となる本シンポジウムでは、PEPNet-Japanの1年間の活動成果を報告するとともに、アメリカ北東部の聴覚障害学生支援ネットワークであるNETACの取り組みをもとに、我が国で支援ネットワークを広げていくために今後私たちが取り組むべき課題について、意見を交わし学ぶことができればと考えています。

日 時:2006年11月18日(土)10:00~17:00

会 場:日本福祉大学 名古屋キャンパス

(愛知県名古屋市中区千代田5-22-35)

第1部 10:00~12:00

基礎講座 ゼロから始める聴覚障害学生支援体制作り

分科会① 質的・量的充足をめざした情報保障者の養成

分科会② 聴覚障害学生とともに考える情報保障

第2部 13:00~17:00

開会式

事業報告

対談企画「NETACサイトコーディネーターに学ぶ聴覚障害学生支援」

パネルディスカッション「聴覚障害学生支援におけるコーディネーターの役割

～さらなる支援体制充実のために～(仮)」



Pat Billies 氏
NETAC プロジェクト
コーディネーター



Desiree Duda 氏
ニューヨーク州 NETAC
サイトコーディネーター

会場にてPEPNet-Japan連携大学・機関の取り組みに関する資料展示を行います。また、全プログラムに手話通訳およびパソコン要約筆記による情報保障を用意しています。対談には英語-日本語間の音声通訳がつきます。

主 催: 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)

実行委員長: 大泉 溥(日本福祉大学)

実行委員: 水野 暁子・藤井 克美(日本福祉大学)、金澤 貴之(群馬大学)、松崎 丈(宮城県・仙台市聴覚障害学生情報保障支援センター)、根本 匡文・長南 浩人・三好 茂樹・河野 純大・白澤 麻弓(筑波技術大学)、中島 亜紀子・萩原 彩子(PEPNet-Japan 事務局)

協 力: 倉谷 慶子・吉川 あゆみ(関東聴覚障害学生サポートセンター)、広瀬 洋子・大倉 孝昭(メディア教育開発センター)、伊藤 聡知・中津 真美(東京大学)、太田 晴康(静岡福祉大学)、都築 繁幸・岩田 吉生(愛知教育大学)、土橋 恵美子(同志社大学)、吉原 正治(広島大学)、高橋 信雄・原田 美藤(愛媛大学)、太田 富雄(福岡教育大学)

問い合わせ先: 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)事務局

〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15

筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 支援交流室 聴覚系 WG 内

URL <http://www.pepnet-j.com>

TEL/FAX 029-858-9429 E-mail shirasawa@a.tsukuba-tech.ac.jp

担 当: 白澤 麻弓(筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター助教授)

※PEPNet-Japan は、日本財団の助成による PEN-International(本部:アメリカロチェスター工科大学 NTID 内)の事業の一部です。

